



市立病院だより

ほほえみ

発行 越谷市立病院
 発行人 院長 丸木 親
 編集 院内情報誌編纂委員会
 連絡先 〒343-8577
 越谷市東越谷10-32
 電話 048-965-2221(代)
 FAX 048-965-3019
 発行月 令和4年(2022年)10月
 (No.53)

「病院機能評価」の受審について

事務部長

はやま ひろゆき
 早山 裕之

現在、当院では病院機能評価の受審準備を進めています。

この病院機能評価は、我が国の病院を対象に、組織全体の運営管理及び提供される医療について、「公益財団法人 日本医療機能評価機構」が中立的、科学的、専門的な見地から評価を行うツールです。

質の高い医療を効率的に提供するために、病院の自助努力はもちろん重要ですが、さらに効果的な取り組みとするため、第三者による評価で問題点を明らかにし改善することが有用となります。そして、これまで院内では気づくことができなかったことや着手できなかった課題、さらには強みなどを明らかにすることができます。

当院は平成14年度の初回受審以降、継続して更新審査を受けており、今回で4回目の更新(計5回目の受審)となります。

今回は、評価項目第3世代にあたる「3rd G: Ver. 2.0」になりますが、前回との大きな違いは、訪問病棟数4つのうち、2つは当院で選択できますが、残り2つは評価機構側が抽出することと変更されています。

具体的には、サーベイヤーと呼ばれる6名の評価調査者が病院を2日間訪問し、4領域全89項目にわたって病院の取り組みを評価します。病棟以外にも当然調査が入りますので、日頃から行っていることを端的かつ明確に伝えるという説明責任能力も問われます。

今後は、現状調査などを踏まえた改善や模擬審査を経て、来年3月の本審査に備えることとなります。

当該評価は、今や全国の病院のうち約4分の1が認定を受けています。認定という結果を求める以上に、病院が抱える課題について皆が共通認識を持ち、課題解決に向け診療部、看護部及び事務部の職員一丸となって取り組むという、その過程と姿勢が何よりも大切です。そして、これは結果として患者様に安全・安心を提供でき、ひいては働きやすい職場づくりにも繋がると考えています。

前回の認定証は、正面玄関を入って左側の壁に掲示してあります。この認定証は、一定水準以上の医療を提供している病院であるという「証」です。ぜひ機会があれば立ち止まり、確認してみてください。そして、来年には新しい認定証を誇り高く掲げられるよう、病院を挙げて取り組んでいく所存です。

前回の「認定証」はこちら



越谷市立病院

利用者の声について

庶務課 管理担当

武田 英之 主事
たけだ ひでゆき

当院では、患者様のニーズを把握し、さらなる医療サービスの向上を目指すことを目的に、「越谷市立病院利用者の声」としてご意見やご要望を随時受け付けています。

回収箱は1階に2か所、2階に1か所設置しており、7の2病棟を除く各病棟にも1か所ずつ設置しております。

令和3年度(令和3年4月から令和4年3月)には、合わせて「116件」のご意見・ご要望をいただきました。

内訳としては、苦情が「35件」、要望及び提言が「52件」、お礼状が「29件」となっており、内訳の件数につきましては、例年、同数程度で推移しております。



【苦情の内容】

- (1) 病気や診察の流れなどに対する説明が分かりにくかった
- (2) 言葉遣いや態度が悪かった
- (3) その他職員の対応について

【要望・提言】

- (1) 駐車場やトイレなどの施設の改善について
- (2) 待ち時間の短縮について
- (3) 病院の設備やシステムについて

【お礼状】

- (1) 医師や看護師の対応へのお礼
- (2) 清掃や調理スタッフへのお礼

利用者の声につきましては、毎週定期的に回収し、内容の如何にかかわらず、該当する部門の責任者はもとより、院長まで報告し、できる限り速やかに回答を行っています。

いただきましたそれぞれの内容に基づき、職員の接遇指導や設備の改善などに取り組んでおり、お礼状については、病院スタッフの大きな励みになっております。

また、利用者の声のほかに、例年8月頃に1日をかけ、「患者満足度調査」を実施しています。

当日に入院されている患者様(一部病棟を除く)及び外来を受診された患者様に対し、アンケートを依頼しており、「患者様のニーズを把握し、的確な改善施策を講じること及び患者様の客観的な評価を得ることにより、職員の意識改革とともに医療サービスの向上を図る」ことを目的に実施しています。

昨年度は、令和3年8月26日に実施し、入院患者様「120名」及び外来患者様「251名」にご回答いただきました。

皆様からのご意見やご要望は、さらにより良い病院にするために欠かせないものです。今後もお気づきの点がございましたら、ご意見をいただければ幸いです。

「新採用医師の紹介」

◇令和4年(2022年)4月1日付

・眼科
松崎 有修
まつぎき ゆうすけ

・外科
入江 彰一
いりえ しょういち

・外科
陳 瑛
ちん じゆん

・消化器科

黒澤 太郎
くろさわ たろう

・消化器科

西村 安梨沙
にしむら ありさ

・泌尿器科

福田 和泰
ふくだ かずひろ

・小児科

福田 茂孝
ふくだ しげたか

・婦人科

星野 将輝
ほしの まさき

・放射線科

木村 琢
きむら たく

・循環器科

樫野 友利奈
かしの ゆりな

・耳鼻咽喉科

石川 数馬
いしかわ かずま

◇令和4年(2022年)7月1日付

・整形外科

池上 隆司
いけがみ たかし

・整形外科

山口 寛人
やまぐち ひろと

・整形外科

笹原 崇宏
ささはら たかひろ

・整形外科

宮沢 隼弥
みやざわ しゅんや

・整形外科

横田 亮介
よこた りょうすけ

・呼吸器科

森 美紀子
もり みきこ

◇編集後記◇

院内情報誌編纂委員長

尾羽澤 英子
おぼさわ はなこ

今年(2022年)は6月から猛暑日が続いており、つゆ明け宣言後につゆ戻りがあったりして、四季の移り変りの時期や期間が狂ってしまった、その後も30度越えの猛暑が続き、ゲリラ豪雨もあり、体調を崩される方も多かったことでしょう。

さらに新型コロナウイルス感染症の第7波はすごい勢いでしたね。10月は夏の疲れを整えて、実りの秋を楽しみましょう。